

# 清里 まちづくり

## No.27

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町 339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>

まえりあ清里

で検索



### 「清里まちづくり活動」

#### そば打ち部会

「文化祭に参加して」

10月27日(土)午前9時、打ち手5名がそばを打ち始め、スタッフはテーブル等の設営準備に取りかかる。今回はおみやげ用のそばも用意するため、打ち手方は大忙しで休む間もなく真剣スタッフも慣れないパック詰めにてんてこまい。おみやげ用は売り切れになる前に、というお客様で大にぎわい。「ハイ、お待たせをいたしました。」

11時頃からはお召し上がりになるお客様も増え、嬉しい悲鳴。打ち手のテーブルの前には、そのパフォーマンスを見学するお客様も多くなり、打ち手方は俄然、力が入ることこの上なし。4時頃には完売となる大盛況。お越しいただいたお客様、有り難うございました。お味は如何だったでしょうか？来年もスタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしております。



文化祭でのそば打ちパフォーマンス

### 「ソバの収穫を終えて」

昨年、ソバの種まき・刈り取り・脱穀を初めて行い、今年は2回目の取り組みとなった。ソバの種まきを8月26日(日)午前6時から、前原の松下さんの畑でまちづくり協議会役員の方、そば打ち部会の人たちなど大勢の方に参加していただき、終了。

刈り取りは11月5日(月)午前7時から、まちづくり協議会役員、そば打ち部会の人たちが参加して、天日干しのハンデ(干し台)に掛ける作業をして、2時間半程で終了。実も大きく膨らみ、ハンデにぎっしり並べられた。(ウーン。手応え十分)

11月24日(土)には午前9時から、子育連の子どもたち、まちづくり協議会役員及びそば打ち部会員等により、脱穀を行った。昔の脱穀機、通称「ガーン・ガーン」は子どもたちに人気で、こわごわながらも興味津々であった。脱穀した実を選別し、袋詰めにした。多くの方に参加していただいたおかげで、3時間弱で終了。

皆様ご協力有難うございました。ちなみに、収穫量は昨年の2倍超えでした。12月の収穫祭を楽しみにしてください。

(森村信政・岩田妙子)



子ども達も手伝ってくれたソバの脱穀

「お知らせ」12月23日(日)に収穫祭を開催します!

清里まちづくり協議会では、農業と食の大切さや地産地消を実感しながら地域の皆さんが交流を深められる場として、収穫祭を開催します。種まきから収穫までを地域ぐるみで取り組んだ「そば」と清里特産の枝豆を使う「きよさと焼」を皆さんにご賞味いただきます。ぜひお越しください。

日時 12月23日(日)午前10時頃から(少年の日フェスティバル午前9時開会)と同時開催)  
場所 清里公民館



昨年の収穫祭の様子

## まちづくりだんべえ部会

夏も終わり、子どもたちの元気な鼓笛に秋を感じる頃になると、毎年届く前橋まつりの申し込み通知。今年で早5年を迎え、清里だんべえ部会も常連!の域に達し、祭り関係者の方々とも馴染みが深くなりました。昨年同様、立川町通りでのだんべえ踊りと特設会場でのパフォーマンスの二部に参加してまいりました。



立川町通りでのだんべえ踊り

一団体の制限時間は5分。長いのか短いのか、与えられた時間をただひたすら踊り続けます。約六百人、20団体以上で交り合い、独自のだんべえを披露する、だんべえ合戦の様なものです。紙面でお伝えできないのが残念ですが、全く面識のない人達とは思えない程、かなり盛り上がります。同じ曲を踊り続ける事に連帯感さえ感じられるのも祭りの魅力でしょうか。やはり50分は長く、それでも最後まで踊り切るのには、毎年応援してくださる自治会長さん方のお陰です。踊る波に混ざり、のぼり旗を掲げ励ましてくださり、

それが毎年心強く、さらに今年は、まちづくり協議会役員の方も応援してくださり、筋肉痛の怖さも忘れ最後まで楽しむことが出来ました。

踊りだけでは飽き足りない子どもたちには釣られて、祭りで溢れる人波に潜り、御神輿の熱気に包まれ、屋台で楽しみ、祭りはやっぱり最高ですね。



パフォーマンス部門での「よっちょれ」

祭りの夜を盛り上げるパフォーマンス部門には、清里ふるさと祭で初披露しました「よっちょれ」で挑みました。練習を見ているうちに覚えてしまったという、侮れない子どもたちを交え、大きなはずの舞台がぎっしり埋まり、大迫力の「よっちょれ」となりました。



文化祭で披露した「ペコリナイト」

文化祭には、「ペコリナイト」で参加しました。来年の目標は、鳴子を持たず踊る本物!の「ペコリナイト」です。(松嶋朋子)

## 食育部会

『きよさと焼』教室を終えて」

毎年、小学3年生に地元で取れる野菜を使った「きよさと焼」を作って食べようという教室を食育部会が開催しています。

11月9日(金)の午後、3年生45名が清里公民館に集まり、8名のお母さんに手伝ってもらい、実習が始まりました。今回初めて「きよさと焼」を食べる子どもが大勢いたのはちよつとシヨックでしたが、皆楽しみにしていました。らしく、目をキラキラさせていました。

6年生の実習ではフライパンを使いますが、今回は、ホットプレートで自分が食べる分を自分で焼いてひっくり



楽しかった『きよさと焼』教室」

返すという作業をしてもらいました。上手に焼けた子や心配そうに眺めている子など、自分で作る楽しさや難しさを経験できたと思います。

最後に感想を聞くと、焼いてもらうよりも自分で焼いた「きよさと焼」がおいしかったようで、みんな嬉しそうに帰っていったのでほっとしました。これからも「きよさと焼」教室は続けて行きたいと思えます。

「まえばし秋穫楽市に参加しました」

食育部会では、前橋市恒例の「まえばし秋穫楽市(11月4日(日))」で「きよさと焼」の販売を行いました。前橋市のイベントへの参加は今年だけで2回目となりました。今回は前橋中心商店街を使ったイベントで、中央通りの真ん中で前橋産農産物販売などが並ぶ中に出店いたしました。思ったほどの人が無く、売れ行きを心配しましたが、一度買ったお客様がもう一度買いに来たり、前橋七夕まつりの時に食べたお客様が「前回もおいしかったから」と言って買ってくださったりと、とても評判良く販売が出来ました。

「清里って何処?」と聞いてくるお客様も多く、説明をすると「へー枝豆が取れるの!」「知らなかった!」と言われ、もともと清里の枝豆がおいしいという事を伝えていかなければならないと思えました。

「きよさと焼」を販売することで、清里の良さを伝えていければ、と今回

のまえばし収穫祭市に参加して考えさせられました。  
(新井博孝)



「まえばし収穫祭市」での販売

### 花いっぱい運動部会

「花はな花壇リニューアル」  
花いっぱい運動部会では、11月15日(木)に花はな花壇の土留め作業を行いました。



新しくなった花はな花壇の土留め

3年前前に真竹と篠で作った土留めがくずれてきたため、今回はもう少し長持ちするように、真竹の土留めに畦

シートと木の杭を使って補強しました。花壇は道沿いにあり、土が堅いので杭を打ち込む作業には、男性の方にご苦労いただきました。また、真竹は地域の方に心良く提供していただきました。多くの方にご協力いただいで、良い土留めができました。  
(櫻井恭子)

### 各町の話

#### 池端町

「池端町十日夜祭(収穫祭)」  
町の最大イベント十日夜祭を秋晴れの11月18日(日)に開催しました。今年で何回になるのか正確に解る人がいない程長い歴史を持つ伝統行事です。



池端町の十日夜祭

主な行事を紹介しますと、紙芝居6年生3名・生涯学習奨励員・新米を使った餅つき(子ども会・保護者)・薫鉄砲(清寿会・子ども会)・綿菓子、ポツプコーン(子ども会のお母さん方)・餅料理(鍋料理)自治会の主婦の皆様方、多くの方々の協力で池端地区の絆がよ

り一層深まったことと思います。6年生3名の紙芝居はとても良かったです。  
(飯島 博)

「出前講座の実施(介護予防について)」

10月13日(土)池端町公民館にて、市役所介護高齢課保健師の松島先生をお招きし、介護の予防(介護をしてもらわない為に)面に関する事柄について講演をしていただきました。

食習慣・運動の大切さ・手足の運動の仕方等々の視点から勉強しました。大切な事は生活習慣の見直し、減塩運動(散歩程度でも可)の継続 手足(指・ひら)の揉み解し等の継続的実施が要点のようです。

参加者32名の皆様、出来る事から早速はじめましょう。  
(飯島 博)

#### 青梨子町

#### 「青梨子町十日夜祭」

11月10日(土)、青梨子町集会所に自治会役員、清寿会、子ども会が集まり十日夜祭が行われました。

青梨子町の十日夜祭は、今の集会所新築時より、昔の行事として2月に行われる《天神待ち》と共に復活し、始まったと聞いています。

外でおもちを子ども会、自治会役員で6臼つきました。ついたおもちは、清寿会の女性と子ども会の女子が大勢で、大きなアンコを入れてまるめもちをたくさん作りました。清寿会の男性

は、薫鉄砲を作り、子どもたちと一緒に地面を叩き、モグラを追い豊作を祈願するお祭りを行いました。

それから自治会役員と子ども会のお母さんが、おでん、けんちん汁、サラダ等をたくさん作りました。子ども達と一緒に清寿会長の十日夜祭の話聞き、おもち、おでん、けんちん汁、サラダ等をいただき、十日夜祭を祝いました。

そのほか、10月に収穫したさつまいもで作ったイモサラダ、焼イモ、蒸しイモが大変好評でした。

この行事がいつまでも続くように、皆でこちそうを食べながら祝いました。  
(田村文男)



青梨子町の十日夜祭

#### 「さつまいも収穫祭」

5月26日(土)に植えたさつまいもを10月6日(土)に収穫しました。自治会役員、清寿会役員、子ども会等約50名が朝からイモ掘りに集まりました。自治会役員が慣れた手つきでつるを切り、マルチをはぎ、子ども達がイ

モを掘れるように準備をしました。それから2時間、皆でたくさん大きなイモを収穫しました。お茶の時には、前に掘ったイモを蒸かし皆で食べました。大変甘くおいしいと好評でした。帰りには皆大きな袋にいっぱいイモを詰め、にこにこ帰りました。大豊作でした。

(田村文男)



青梨子町「さつまいも収穫祭」

### 青梨子町前原 「防犯出前講座」の開催

11月25日(日)午後7時から前原集落センターで開催されました。

内容は、年の瀬を前に振り込め詐欺の「知能犯罪対策」と、前原でも被害が出ている忍び込みや野荒しなどの「侵入盗難対策」の犯罪情勢や手口、家庭の防犯対策について、実演を交えて防犯出前講座が進められました。講師は、県民防犯推進室の生方係長(群馬県警)で、流石に幾多の犯罪現場に係ってこられただけあって、その講座には迫力と説得力があり、有意義なものとなりました。



前原「防犯出前講座」

### 「振り込め詐欺」対策

相手は詐欺のプロで、色々な新手法を用いて、現金を騙し取る手口を次々と出しています。ナンバードイスブレイ電話に常用番号(親戚や友人など)を登録しておき、それ以外の人からの電話には、原則出ないよう心がける。不審な電話やメールなどがあつた時、「110番」に通報する。(群馬県警察管内では、統一情報として素早く処理・対応されます。)

### 「忍び込みなど侵入盗難」対策

「泥棒が嫌がる4要素」につき複数の対策を組み合わせる。「防犯カメラ」を取り付ける。「目」顔や姿を見られる。「センサーライト」を取り付ける。「光」明るく照らされる。「警報ベル」を取り付ける。「音」大きな音を出す。「補助鍵など」を取り付ける。「時間」主鍵だけでなく補助鍵を付けたら、窓ガラスに防犯フィルムを貼るなどすると侵入に時間がかかる。

(栗岡 茂)

### 清野町

#### 「ふれあいいいきサロン」

少子高齢化、核家族化が進行する中、地域住民のつながりが希薄になり、孤独死や虐待など様々な問題が増えております。そのような中、高齢者が地域で気軽に交流する場として、ふれあいいいきサロンの活動が行われております。

清野町でも平成21年1月よりサロンを立ち上げ今現在に至り、参加者にとっても喜ばれています。町内の皆さんのお陰でどうにか軌道に乗って来ました。ひとり暮らし高齢者の近況伺い訪問も大事な活動になっており、問題解決出来るよう努力し、昔から言われている「備えあれば憂いなし」という事がとても大切に思っています。安全安心力1ドの周知徹底をはかり、自分の身も自分の努力によって守る、地域や近隣の人が互いに協力し合う、自主防災組織の一助になればと思っています。

(間仁田なを子)

### 編集後記

朝夕冷え込む季節になりました。今年、前橋市街地のけやき並木の紅葉がきれいだったことに気づかれた方も多いのではないのでしょうか。例年は、緑葉からいきなり枯葉に変わり、落ち葉で通りを賑わせていたのですが、今年は、鮮やかな赤や黄色に紅葉し、見ごたえのあるものとなりました。猛暑が続いたあと、一転して、急に秋らしくなり、朝晩の冷え込みが厳しくなったためです。紅葉は、寒暖の差が激しいほど綺麗に色づくそうです。

ところで、みなさんは、紅葉の仕組みを知っていますか。気温が下がってくると、木は葉を落とすために葉と枝の境に離層を作ります。カエデなどの葉が赤くなるものは光合成により葉に蓄えられた糖分が離層によって枝に送られなくなり、この糖分などからアントシアンという赤い色素が合成され、葉が赤く色づきます。

イチヨウなどの葉が黄色くなるものは、緑色の葉緑素が分解されて、もともと葉に含まれていた黄色のカロチノイドという色素が目立ってくるため黄色い葉となります。

年末になり、忙しい毎日が続くと思いますが、自然を覗いてみると新しい発見があるものです。



ボランティアの前橋西高生と一緒に



(SA)